

2023年度くわな幼稚園/認定こども園くわな学校関係者評価シート

<b>教育目標</b>	自然に親しみながら創造的に過ごすことのできる人間を育てる
-------------	------------------------------

<b>重点目標</b>	園児の活動に対する意欲を高めるために心情を受け止め、その延長線上の態度を育成する
-------------	--

<b>重点課題</b>	園児の創造性を高める活動の設定にあたり、各教員のさらなる創造性を発揮し得る職場環境を作る 園児の創造性を高めるとき、家庭を支える家族の理解と協力の在り方を精査し、進める。特に保護者のエゴと需要の違いを見極める 園児送迎時の安全を確保する一環として、スクールバスのより安全な運行をはかるための方策を練り、実施する
-------------	---

凡例
4=◎
3=○
2=△
1=x
0=x x

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
心情	保育者	指示ではなく理解を寄せる	3.75	誘いかけや提案をしている。子どもの言動から気持ちをやみとりに共感するようにしている。	子ども一人一人の話をきちんと聞いてくれていると思います。
		子どもの言葉にうなづく	4.00	子どもの目線になって聞くようにしている。言葉を最後まで聞き幼児自身の言葉を引き出すようにしている。	
		子どもの言葉を聞き逃さない	3.75	どんな状況でも子どもの声や言葉には耳を傾けるようにしている。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
意欲	保育者	適切な教材などの環境を準備する	4.00	子どもの発達に応じた教材選びを行った。補充 設定に気をつけている。	年長の考えてみようは小学校に向けての活動だと思おうのでとても有り難いです。
		言葉を拾って広げる	4.00	子どものアイデアをクラスで共有し全体に広げていけるようにしている。次にすすめるような言葉がけをこころがけている。	
		成果を喜ぶ	4.00	努力したことや小さな成功も見逃さず、一緒に喜ぶことが出来るようにした。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
態度	保育者	動機の高まりを受け止める	4.00	子どもたちの意欲や興味を受け止めて共に考える姿勢を大切にしている。気持ちを受け止め出来ることは見守るようにした。	興味のあることを考えてみんなで話し合っって飼育する生き物を決めたり、自分で調べて楽しむ力を促してくれている。
		集中力の行方を見定め助長する	4.00	必要な言葉がけ援助は何か常に考え、学年内他学年のスタッフとも意見交換をして保育を進めている。時間の許す限り取り組む事を見守り援助もする。	
		任せる	4.00	子どもの主体性を大切に必要必要な援助をしつつ見守るようにしている。	

教員自己評価

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
I 保育の計画性	園の教育理念や教育方針を理解している	3.59	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任会や学年会など学園や園全体のことについて園のねらい、子どもの育ちをもとにして話を進めている。</li> <li>・学年会では具体的に活動の導入、進め方を話している。それらは全てねらいを大切にしている。</li> </ul>	
	園の教育方針に共感している			
	園の方針、園長の考えについて園長や教職員と話し合っている			
	園のねらいにそった保育をしている			
	園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる			
	幼稚園教育要領を理解していると思う	3.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育要領をもとに行事のねらいを決め、ねらいを達成するような活動になるよう努めている。</li> </ul>	
	幼稚園教育要領について、園長や教職員と話し合っている			
	幼稚園教育要領について、幼児の姿や環境の構成、教師のかかわりなど具体的な事例を想起できる			
	園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神をふまえ園の教育理念・教育方針にしたがい編成している	3.45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の教育課程を園全体の職員が理解できるよう学年会で話している。</li> <li>・子どもの発達も理解しながらどのような計画が良いか情報交換したり何かあればすぐに共有し全体が分かるようにしている。</li> </ul>	
	園の教育課程を理解していると思う			
園の教育課程をもとに、保育の計画をたてている				
園の教育課程は園長が中心となり、教職員と協力しあって編成している				
園の教育課程は社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている				
園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	3.55	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達や季節のものなどをふまえて1年あるいは3年を通して子どもの成長に繋がるような活動を考えている。</li> <li>・毎月の活動を振り返り子どもの様子や保育方法についてなどの話をすることで来年(次年度)のカリキュラムに活かしている。</li> <li>・行事の在り方について考え毎年同じではなく、より良いものになるよう係を中心に考え、進めている。</li> </ul>		
指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態などをもとに考えて作成している				
指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している				
長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しをおこない、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるように作成している				
短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、自由に変更できるような順応性のあるものになっている				
指導計画は総合的な活動ができるように考慮し作成している				
幼児の生活が豊かになるような行事を、幼児の実態に合わせて精選している				
安全で清潔感のある環境構成をしている				

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
5	指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をしている	3.60	・子ども達が見たり触れたり遊んだりできるような高さや配置になるよう心掛けている。	
	幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている			
	幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をしている			
	遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量を配慮して用意している			
	楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている			
	幼児の動線、目線に配慮した環境構成をしている			
	幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している			
	幼児の発想を柔軟に取り入れて保育室の装飾や展示を考えている			
	教師の願いや意図をもって環境構成をしている			
	幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている			
	季節の変化に応じた環境構成をしている			
異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている				
6	自分の保育と計画の評価・反省を、行うようにしている	3.44	・毎月書いている月案を見て振り返りながら反省や評価を行い学年の先生とも話している。また反省を次に活かせるよう細かくどのようにするか話している。 ・保育の進め方や援助など共有し、より良い保育に繋げている。	
	評価・反省は観点を定めて行っている			
	自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている			
	自分の保育を他の教師たちにも見てもらい、それをもとに検討している			
	互いに保育をみせあつて、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている			
1	朝の登園時は特に視診を大切に幼児の体調が悪くないかを確かめている	3.77	・毎朝子どもの顔を見て挨拶をし健康状態を把握するようにしている。 ・園庭や保育室に危険な箇所が無いのか点検し環境を整えている。 ・大きな怪我をした場合はすぐに保護者に連絡を取り、医師に適切な処置をしてもらうようにしている。	普段の生活ではよく見てくれていると思いますが、緊急時の怪我や特に体調不良の時の対応に関して不安を感じる時があったので、職員の中で対応策を話し合っていて欲しいです。
	体調が悪そうなときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い適宜、家庭へ連絡している			
	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成や言葉かけを行っている			
	万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置を行っている			
	園内に危険な箇所がないかどうか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかなどを常に観察している			
	危険が予測される場合は、幼児達と一緒に見たり、考えたりなどして、安全な使い方や遊び方について気付くことができるようにしている			
	クラスの中の水道付近の清掃や、換気、採光、室温などに気をつけている			
	トイレの清掃やトイレの使い方について配慮し、幼児にも正しい使い方を具体的に示している			
一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている				

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察			
Ⅱ 保育のあり方、 幼児への対応	<p>幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている</p> <p>幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている</p> <p>見えないところで活動している幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することが出来る</p> <p>一人の幼児をじっくりとみながら、周囲にも目を配ることが出来る</p>	3.61	<p>・クラス全体の活動の中でも、それぞれの幼児の様子をとらえ把握して、必要な言葉かけ援助を行っている。</p> <p>・必要な場合は個別に懇談の機会を設け幼児のことをより理解できるようにしている。</p>	<p>年中さんは人数が多いので一人一人見るのが難しいのではないかと思います。2クラスするのであれば予備の先生は3人いるのではないかと思います。又は3クラスが良いです。</p>			
	<p>2 個々の幼児の発達の姿や課題について見通しを持って理解できる</p> <p>幼児同士のかかわりの姿をとらえることができる</p> <p>幼児たちがいま興味や関心を持っていることがわかる</p> <p>幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている</p> <p>幼児の理解のために保護者と話し合うことがある</p> <p>幼児の姿を、家庭での生活をふまえて理解している</p> <p>幼児の姿を多面的にとらえることができる</p>						
	<p>3 幼児に合わせて同じように動いてみたり、同じ目線にたってもものを見つめたりしている</p> <p>幼児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる</p> <p>一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながらかかわっている</p> <p>幼児からのアイデアをくみとって遊びを深めている</p> <p>「先生のようにやってみたい」と幼児が思うような、モデルとしての姿を心がけている</p> <p>教師らしい品位ある言葉、正しい日本語の用法を心がけている</p> <p>幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている</p> <p>善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でもモデルとなっている</p> <p>幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている</p> <p>幼児とのスキンシップをとるようにしている</p> <p>幼児一人ひとりのよさを認めるようにしている</p> <p>幼児の話をよく聞くようにしている</p> <p>幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している</p> <p>幼児の年齢に応じたわかりやすく聞き取りやすい語りかけ方をしている</p> <p>幼児が行き詰っている時に、適切な援助をしている</p> <p>幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている</p> <p>幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉かけをしている</p>				3.92	<p>・遊びの中で、幼児と同じ目線に立ち言葉を拾いながら共感したり意見を聞いたりしている。一人の気づきをクラス全体に共有し、より遊びが発展するようにしている。</p> <p>・嬉しいこと出来た事があればハイタッチや抱擁などでスキンシップを取り、気持ちを共有して信頼関係が深まるようにしている。</p> <p>・禁止の言葉を使わないようにどのように変えて言葉を掛けるか、言葉選びに気を付けている。</p>	<p>特に不満はありません。幼児の意見や言葉をくみとり気持ちに寄り添って頂いているのを日々の様子から感じ取れます。安心して子どもを預けることができています。</p>

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
	<p>禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている</p> <p>”一人ひとり”と”みんな”の関係を常に考えながらかかわっている</p> <p>幼児同士のトラブルに対し、両者の話を聞いている</p> <p>幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児の個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしていない</p> <p>幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている</p>			
4	<p>クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている</p> <p>クラス的环境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換している</p> <p>幼児のこころについて常に保育者同間で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している</p> <p>教職員全員が、すべての幼児についてある程度理解しているようさまざまな工夫をしている</p> <p>指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で特によく話し合い、共通理解をもって、対応するようにしている</p> <p>「認知」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「記憶」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「拡散思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「評価」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようなさまざまな工夫をしている</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちとかかわれるよう、さまざまな保育の形態を取り入れている</p>	3.32	<p>・ミーティングで各クラスの子どもの様子を共有したり、担当・学年関係なくスタッフ同士で相談したり、子どもをたくさん目の目で見守り援助できるようにしている。</p>	<p>様々なカリキュラムを取り入れて頂いているのが伝わってきます。子ども達も楽しんで活動しているようです。</p>
	<p>幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付けている</p> <p>より高度な専門知識や技能を身に付けようと研修している</p> <p>幼児の性格や個性を把握するよう努めている</p> <p>保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている</p> <p>仕事の手順をよく考え、能率よく行っている</p> <p>幼児が考え、感じていることがある程度予測できる</p> <p>保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている</p> <p>幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない</p> <p>幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにする</p> <p>朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている</p> <p>感謝の気持ちを言葉などで表わしている</p> <p>園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにする</p>		<p>・公私混同しないように言葉や態度に気をつける。</p> <p>・私の部分を持ち込まないよう色々な場面で考える必要はある。</p> <p>・公の部分で持ち込みや漏洩など十分に気をつけるようにしている。(上記2点については判断が難しい時など周りに声がけ相談したりする。)</p> <p>・仕事は能率 効率よく進められるよう考えて動くようにしている。</p> <p>・自分の管理 使用する物など、良識の範囲で見極めをしてから行動などに移すようにしている。</p>	<p>保護者とも積極的に話しに来てくださり、目を合わせてコミュニケーションを取ってくださいます。子どもとも全力で遊んでくださっている姿をお見掛けしてとてもほほえましく思っています。</p>

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
Ⅲ 教師としての資質や能力、良識、適正	1 服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている	3.74		
	保育にふさわしい服装を身に付けている			
	自らの健康に、十分に気を配っている			
	爪の管理をしている			
	子ども(担任外も)と保護者の顔や名前が一致する			
	担任する、子どもの性格を把握している			
	職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている			
	幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない			
	園の重要書類を無許可で持ち出していない			
	教材、教具の管理、点検に気を配っている			
	クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している			
	現金は管理せず、事務所に預けている			
	締切りのある仕事や提出物は締切日を守っている			
	同僚や園の批判を軽はずみにしていない			
2 教職員全員でひとつのチームであることを意識している	3.76	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の意見を聞く 自分の思いや考えも言える雰囲気 関係などにも考慮するようにしている。</li> <li>・悩み事など言える 聞ける関係性も大切にし、気に掛けるようにしている。</li> <li>・知りえた事の憶測や口外など十分注意をしている。迷う時は一度とまって周りに相談するなど大切にしている。</li> </ul>	先生同士の連携もよく取れているのが伝わってきます。	
学年をまとめようと努力している				
「この先生はこの程度だから」と同僚の評価を固定していない				
会議や打ち合わせは時間を厳守している				
他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる				
自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している				
会議のときは自分の意見や質問を前もって考えている				
子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をしている				
2 係の仕事は確実にこなしている				
教職員と親しくつき合い、偏った人間関係を作っていない				
上司の指示、命令には責任を持って実行している				
上司や先輩に対しては敬語を用いて話している				
教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない				
園のことを、みだりに、他へ話してしていない				
主任、もしくは上司は、自分の利益より全体の利益を優先していると思える				
主任、もしくは上司を尊敬できる				
同僚の問いかけに無視することなく、答えている				
自分の思いや考えを他人に理解しやすいように伝える努力をしている				
幼児と会話をしたり遊んだりするのが好きである				

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
	3	3.87	・子ども達の考えや話を理解できるように心がけていることが楽しい。	先生方が子どもが大好きなんだという様子が伝わってきます。
	幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる			
	幼児と一緒に苦しんだり考えたりすることができる			
	幼児と一緒に生活を創りだすことが楽しい			
	4	3.55	・興味・関心を持っている。	園外活動に力を入れているなと思います。散歩や生き物を育てる活動も子どもに良い刺激になっています。
	特に配慮を要する幼児が望ましい方向へと変容していく過程に喜びを感じる			
	幼児や教育に関する情報をたえずとらえようとしている			
	幼稚園や幼児のことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある			
	幼稚園の仕事の他に、多様な趣味を持っている			
IV 保護者への対応	1	3.22	・クラスの様子はおたよりで知らせている。 ・子どもの様子は個人記録で伝えたり迎えなどで伝えている。変わった様子があれば都度伝えている。	担任によっては子どもの様子を詳しく伝えてくれたりそうでなかったりとバラつきがあるように思います。こちらから様子を伺うときちんと対応して頂いていると思います。低学年の子どもは自分から園での様子を伝えられないのもう少し教えて欲しいです。
	欠席の場合は電話連絡をしている			
	個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝えている			
	保育参観や保護者会を開いて子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努めている			
	場合によっては個別に保育の様子や子どもの様子を見てもらったり、保護者と話し合ったりする			
	いつでも個別懇談が行える体制であることを保護者に伝えている			
	自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞いている			
	「認知」が得意な子どもについて保護者に説明できる			
	「記憶」が得意な子どもについて保護者に説明できる			
	「集中思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる			
	「拡散思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる			
	「評価」が得意な子どもについて保護者に説明できる			
	必要に応じて、ビデオ、写真、イラストなどさまざまな方法で分かりやすく伝える工夫をしている			
2	3.68	・保護者からの意見は園長や主任に話、ミーティングなどで全体に知らせている。	出来ていると思います。	
保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視しないで、園長や主任、学年主任等に報告や相談をしている				
保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている				
保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている				
	保護者の協力が必要な場合は、園長と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている			

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
	保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている	4.00	・していない。	
	個々の子どもの情報は口外していない			
	保護者、家庭の情報は口外していない			
4	「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない	3.62	・言葉の使い方には十分注意している。 ・親しみを込めて子ども 保護者に対応している。	他のクラス、他学年の先生もみなさんに挨拶して頂けている。
	親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない			
	電話は相手が見えないために誤解が生じやすい。手短に、簡潔に要領よく、対話することを心がけている			
	保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない			
	長期の欠席や入院等の場合は見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている			
	園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや会話を心がけている			
	保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している			
5	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している	3.91	・クレームがあった場合は園長 主任に報告し対応している。必要であればミーティングでも共有する。	そう思う。
	クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対処している			
V 地域の自然や社会とのかかわり	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	4.00	・散歩へ出掛けた時に保護者自ら挨拶を行い、子どもの手本となるようにした。	
	地域の自然や主な施設の場所、交通機関、主な行事等について、ある程度理解している			
	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している			
	地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をしている			
2	小学校の教育内容について理解しようとしている	2.73	・卒園児の情報を兄弟や習い事の送迎時に様子を聞くようにした。	上の子を連れていくと挨拶をして頂けます。
	卒園した子どもの情報を得るように努めている			
	地域の小学校の行事や公開授業に関心をもっている			
3	地域開放や子育て支援について具体的な形や内容を理解している	4.00	・トミーズクラブで、年齢に合った活動を行うようにしている。	そう思う。
	地域開放や子育て支援のあり方について、教職員全体で話し合っている			
1	研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している	3.09	・積極的にキャリアアップ研修や専門書を読み、様々な知識を身に付けるようにした。	
	研修会や研究会に参加する場合は事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめている			
	研修会や研究会では活発に発言している			
	専門書や専門雑誌を読んでいる			
	研究保育を参観するときは自分なりの課題と視点をもって観ている			

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察	
VI 研修と研究	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行っている				
	自分の保育のあり方や悩みについて、他の教師や主任、園長と話し合っている				
	他園の見学をしたり、公開保育を観てみたりする機会をいつも探している				
	2	子どものみとりと内面理解について研修・研究を行なっている	3.22	・公開保育を通して環境構成の大切さに気づき、普段の保育でも反省を活かせるよう振り返りや話し合いを行っている。	
	指導計画の作成や記録の取り方、考察のあり方に関する研修・研究を行なっている				
	環境構成・再構成のあり方について研修・研究を行なっている				
	指導とかかわりのあり方について研修・研究を行なっている				
	自分なりの幼児観・保育観の確立のための研修・研究を行なっている				
	確立された幼児観・保育観について客観的に見つめるための研修・研究を行なっている				
	保育者同士の協力・連携のあり方について研修・研究を行なっている				
	自らの得意分野を確立するための研修・研究を行なっている				
	良識・常識・義務・マナーなどに関する研修・研究を行なっている				
	保護者への対応のあり方について研修・研究を行なっている				
	3	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方の研究をしている	2.90	・遊具点検を年度始めに行い、遊具の使い方や予想される子どもの様子について研修を行っている。	
	園の遊具や教材についてさまざまな利用方法について研究している				
園の遊具や教材について子どもはどんな使い方をするのかの研究をしている					
園の遊具や教材についてどのような使い方が危険かの研究をしている					
4	園舎の構造(平屋、二階建て、三階建て)や保育室・遊戯室の位置・大きさなどが持つ特質が、幼児にとってどのような教育的な意味を持つかについて理解するための研究をしている	2.82	・保育者の知識をさらに上げられるよう専門書を読むようにしている。		
園庭や農耕栽培地、砂場、通路、池、かくれ場所などの位置、広さなどが幼児にとってどのような教育的な意味を持つか理解し、保育に生かす研究をしている					
園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かす研究をしている					
園内の環境を、いくつかのまとまりや関連性を持たせて保育の計画・実践に生かす研究をしている					
5	子どもを取り巻くさまざまな状況が変化してきていることについて学習し、何が問題であるか、背景・原因・実態はどうであるかについて理解したり、学習したりする研究をしている	4.00	・積極的に研修を受けている。	時代に合わせた保育を考えてくれているように思う。	
さまざまな変化の中で、幼児にとって何が問題であるか、幼稚園としてはそれに対してどのような教育を行なわなければならないかについて考えたり学習したりしている					
クレームの対応についての勉強会をしている					
アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について研究している					
障害のある幼児に対処する保育のあり方を学習している					

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
	預かり保育や子育て支援などのあり方・考え方について、学習している			
	チーム保育について、その意義やあり方について研修・研究している			
	幼小連携について、その意義やあり方について研修・研究している			
	危機管理について、現状やあり方について研修・研究している			
6	趣味・人とかかわりなど、うるおいのある生活を心がけている	3.59	・プライベートでは自分の時間を大切に息抜きができるようにしている。	
	保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある			
	尊敬する人の話はぜひ聞きたいと思っている			
	いろいろな人と意見を交換し合いたいと思っている			

#### 運転スタッフ自己評価

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
I 計画性	園の教育理念や教育方針を理解している	3.50	・月初にエンジンオイル及び冷却水の点検を行っている。 ・先生方のサポートに徹し、言葉掛けは挨拶や相づち程度にとどめているが、教育理念や方針についての詳細を再確認すべきと考える。	
	園のねらいにそった対応をしている			
	幼稚園の名称(看板)を付けて運行することを意識している			
	仕業点検を実施している			
2				
3	幼児に教育上不適切な言葉がけをしていない	3.22	・励行している。	
	楽しい雰囲気の中で安定して過ごせる環境構成をサポートしている			
	幼児の活動がより豊かになるように、言葉を添えている			
4	自分の運転の評価・反省を自分自身で行っている	3.50	・行っている。	
1	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な言葉がけを行っている	3.88	・バスの車内の清掃は毎朝出発前に行っている。 ・走行中も車内を確認し、例えば窓側でウトウトしている園児がいれば、窓ガラスで頭を打たないよう先生に進言している。 ・新型コロナウイルス感染対策の為、バスの換気には十分に注意を払った。	バスが事故をした時、対応は早かったがその後の詳細を知りたかった。子どもの取り残し事件の後、今も続けてドアを開けっぱなしにしている。バスに誰もいないか確認をしている。
	万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置をとるべく行動している、またはその心の準備がある			
	幼児にとっての危険の排除を意識して行っている			
	スクールバスの中の清掃や、換気、採光、温度に気をつけている			
2	幼稚園勤務者らしい品位ある言葉、正しい言葉の用法を心がけている	3.06	・励行している。	
	幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしていない			
	善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でモデルとなっている			
	幼児の話をよく聞くようにしている			
	幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉がけをしている			

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
II 現場のあり方（対応と技術、運用）	3	3.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝子ども達に声を掛けをしてコミュニケーションをとり、楽しい通園になるように心がけている。</li> </ul>	毎日バス停に着くときに手を振ってくれる。年少乗りやすい。
	4	3.37	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停にバスを停車させるときは圧迫感を持たれないよう十分に減速し低スピードにて進入している。又、発進時にもアイドリング状態でゆっくり発車するのを励行している。</li> <li>・運転士会にてデジタコ評価をもとに各々の欠点を探り、幼稚園の看板に恥じない運行に努めている。</li> <li>・バス停位置、経路等、やむを得ない状況により一般ドライバーから意見をいただくこともあるが、安全第一を最優先に道路交通法と園内ルールの順守に努め運行している。</li> <li>・中央自動車との連携及び日常点検の完全実施が、本年度、人身事故及び路上故障皆無に寄与していると考ええる。</li> <li>・コロナウイルス感染症が、5類感染症に移行されたとは言えこれまでのように車内の清掃、消毒、換気等、衛生面には気を配り、外気エアコンも併用し、感染予防に細心の注意を払っている。</li> <li>・バスの運転には特に気を配り、子ども達の安全に配慮している。</li> </ul>	スピードの出しすぎと感じた。→なおった。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>極端な禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度をとっていない</li> <li>教師の援助に進んで取り組んでいる（行事における机、いす移動など）</li> <li>教師の進める活動と無関係に子どもと遊んでいない</li> <li>幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしていない</li> <li>幼児の気持ちを不必要にあおっていない</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で共通理解をもって、対応するようにしている</li> <li>バス停に停車時、園児以外の子どもの巻き込みを確認している</li> <li>バス停の停車位置の変更に当たっては上司や担当教諭と相談している</li> <li>バス停に、バスが到着時、扉をあけるための「よし」を教諭に伝えている</li> <li>左折時の左巻き込みに、注意を払っている</li> <li>路肩走行をしていない</li> <li>雨天時、曇天時には適宜、ライトを点灯している</li> <li>路地の走行では、子ども等の飛び出しに留意している</li> <li>住宅地内の「とまれ」の標識のない交差点は最徐行、もしくは一旦停車している</li> <li>幼稚園正門に進入時、門が開いている場合は停止している</li> <li>幼稚園正門を出発時、担当者の出発合図を確認している</li> <li>幼稚園正門を出発時、門の閉鎖を確認してから発進している</li> <li>幼稚園出発にあたり、園児の乗車を補助している</li> <li>年度初めのバスコースの編成にあたり、提案している</li> <li>走行するうちに不都合と気付いた経路などを上司や担当教諭に提案している</li> <li>渋滞や工事回避などの臨機応変のコース変更を本部へ連絡している</li> <li>一日の終わりに、清掃を実施している</li> <li>一日の終わりに、外回りの点検を実施している</li> <li>ダイヤより安全を優先している</li> <li>スピード違反をしていない</li> <li>黄色の信号で進んでいない</li> <li>定刻に出発している</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の時間外でも幼稚園勤務者としての誇りと自覚を持った言動と行動を心がけている</li> <li>幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない</li> <li>幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている</li> <li>朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている</li> <li>感謝の気持ちを言葉などで表わしている</li> <li>園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにしている</li> <li>服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている</li> <li>運転職としてにふさわしい服装を身に付けている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝バスの中を清掃し、窓ふきを行っている。</li> </ul>	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察	
Ⅲ 職員としての 資質や能力、 良識、適正	5	3.34	・健康管理には十分注意している。不調であればすぐ病院に行き診察をしてもらっている。	バスをきれいにしてきている。	
	自らの健康に、十分に気を配っている				
	爪の管理をしている				
	保護者の顔や名前が子どものそれと一致するよう心がけている				
	職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている				
	幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない				
	園の重要書類を無許可で持ち出していない				
	備え付け用具の管理、点検に気を配っている				
	バスの中はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している				
	現金は管理せず、事務所に預けている				
6	3.50	・業務上知りえた情報や園の重要書類などの秘密厳守はもちろんのこと、水道光熱費・消耗品の節約等、経費節減にも努めている。			
				教員と職員とが全員でひとつのチームであることを意識している	
				他の人の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べている	
				自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している	
				園内、車両内禁煙を励行している	
				教職員や園の批判をしていない	
教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない					
園のことを、みだりに、他へ話してしていない					
7	3.33	・できる。			
Ⅳ 保護者への 対応	1	3.08	・積極的な挨拶に心掛け、密接でも疎遠でもなく、適度な距離を持って笑顔で接するよう努めている。		
					保護者との会話は「です」「ます」で行っている
	保育参観や懇談会は子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努める行事であることを理解している				
	2	2.92	・行っている。		
					保護者からの相談ごとは、自分だけの判断で返答せず、ほかの職員や職員室に伝えている。
					保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている
	保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている				
	保護者の協力が必要な場合は、上司と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている				
	3	4.00	・個人情報の漏洩禁止、教育の徹底をはかる。		
					保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている
個々の子どもの情報は口外していない					
保護者、家庭の情報は口外していない					
4	3.43	・ルーティーンとして各バス停では会釈をしている。	怪我などの連絡をバスのスタッフが伝えてくれる。連携が取れている。		
				「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない	
				朝、バス停に近づくごとに会釈している	
				保護者の国籍、思想、宗教または職業により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない	
自分の領域でない質問に無理に答えようとしない					

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
	保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどして対応している			
	5 保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、上司に連絡、報告、相談している 幼稚園駐車場では、保護者車両の通行優先を実行している	3.17	・行っている。	
V 地域との かかわり	1 地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	3.00	・通行させて頂いているという意識で送迎をしている。	
	2 他の幼稚園、保育園のスクールバスに会釈をしている	3.42	・行っている。	
VI 研修と 研究	1 自らの運転のマナーや方法について、自問している 速度の出しすぎに注意している 他の走行車両に迷惑にならないように配慮している 地元の生活道路を通行「させてもらっている」という認識を持っている 発進と停車をスムーズ行うべく、心がけと検証をしている バス停で、バス出発時、園児の着席を確認している 停止線で停止している バス走行中に運行に必要な言動以外はしていない	3.50	・一時停止の交差点では二段階停止を行っている。停止線のない交差点では最徐行を行い確認をしている。	
	2 教諭との会話でパワーハラスメントととられる言動をしていない 教諭との会話でセクシャルハラスメントととられる言動をしていない 朝の出発にあたり、教諭と朝の挨拶を交わしている 良識・常識・義務・マナーに留意している	3.79	・ハラスメントについては相手方によるものの比重が高く、アレルギー、障害者への対応も含めて勉強不足が否めない。	
	3 園の遊具や教材の使い方の危険性を理解している	3.60	・理解できるように努力する。	
	4 アレルギー、自立の遅れなどの問題について理解しようとしている 障害のある幼児に対処する保育のあり方に理解を寄せている 危機管理について、現状やあり方について研修・研究している	2.00	・危機管理については、費用が掛かるので、理想と現実との乖離はまだ課題が残るところである。	

## 行事を通して

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
入園式	保育者 幼児が活動に参加することで、充実感を味わう事が出来るよう、幼児の行動を見守りながら適切な援助を行うようにする。	3.70	・パペットを使いコミュニケーションをとったり、手遊びや歌を大きく動いて見せたりして子どもが楽しめるようにした。 ・子どもの言葉を拾い、受け止めて充実感を味わえるようにした。	担任の先生が名前を呼んでくれるのはすごく喜んでいました。入園当初、先生の名前を覚えることが出来ずに色の名前で先生を覚えていたので、クラスの服を着てもらったことが助かりました。
	幼児 温かい触れ合いの中で、存在感や充実感を味わう。	3.90	・名前を呼び、笑顔で話しかけて積極的に関わった。 ・次の登園が楽しみになるように期待が持てるような言葉をかけた。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
保護者	幼稚園と共に幼児を育てるという意識を高める。	3.90	・質問などに丁寧に答え、何でも話していいんだと思ってもらえるようにした。 ・学年の目標やクラスの目標を伝え、一緒に育てて行くという意識を大切にした。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
始業式	保育者 進級の喜びや不安を受け止め、信頼関係を築く一歩であることを認識し、一緒に遊び一人ひとりの行動を見守りながら援助を行う。	3.90	・一人ひとりに進級おめでとうと伝えた。一つ大きくなったことを一緒に喜んだ。	親の参加は必要かアンケートをとってもいいかと思う。参加行事の中で優先順位は低いのかなと思います。
	幼児 新しい友達や先生と共に過ごすことの喜びを味わう。新しい部屋や自分の靴箱、ロッカーの場所を知る。	3.90	・新しいクラスや先生と過ごす様子を温かく見守り、荷物の置き場所が分からない子どもに対して、一緒にやろうと声をかけて気付くことができるよう声を掛けた。	
	保護者 教育方針を知らせ、信頼関係の基盤作りをしていく。	3.90	・教育課程、カリキュラムを渡し、園長の話、担任と話すことでより伝えられるようにした。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
親子のつどい	保育者 ・遊びを通して親子、友だち、保護者間の関わりを築けるよう努める。 ・親子で触れ合いながら、身体遊びの楽しさを体感し、進んで運動しようとする意欲を養う。	4.00	・遊びをする中で、子どもだけでなくともに遊べるよう「一緒にやってみて下さい」と声を掛けた。保護者にも分かりやすく楽しめるよう簡潔にルールを伝えるようにした。 ・遊びの中で保護者同士で話すことができる時間を作り、コミュニケーションを取ることができる場を設けた。	親子同士 顔を合わせてゆっくりと時間が取れるので今後も続けて頂きたい。年中・年長になってくるとゲームの内容によっては怪我が心配になる内容だったり、走ることが苦手な子が楽しめない内容だったりしたので今後考慮頂けると良いと思います。
	幼児 ・先生や友達、保護者と共に過ごす喜びを味わい、愛情や信頼感をもつ。	4.00	・普段の遊びを中心に親子で遊ぶことでより子ども達の喜びが大きくなり、クラスみんなで楽しめた。たくさんの方が関り合えるよう声を掛けた。 ・親がいる、またドームの特別感を味わいつつ共に活動する喜びを味わえるよう声掛けをした。	
	保護者 ・子どもたちと一緒に遊ぶ中で、保護者間や幼稚園との情報交換の場にしてもらい信頼関係を作る。	3.90	・遊びと遊びの間に、子どもたちがクラスでどんな風に遊んでいるか話をしたり、朝や帰りの時間を使って子どもたち一人ひとりの園での様子を伝えた。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
避難訓練 1学期	保育者 ・あわてず、安全を第一に子どもを非難させることができる。	4.00	・指導案をよく事前に読み、学年会でも流れを話し合い訓練に臨んだ。 ・怖がる子どもがいたため、訓練であることを伝え「先生がいるから大丈夫だよ」と安心できるようにした。 ・逃げ遅れが無い人数確認を再度行った。	みんなの大好きな消防車を間近でみることができ体験はすごく幼いころから避難訓練の大切さを学ぶことができるのは貴重な体験だと思います。お家に帰ってから「机の下にかくれる」「ハンカチで口をおさえる」など教えてくれたので理解している様子が伝わりました。
	幼児 ・危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。 ・訓練ということを理解して、怖がらずに避難することができる。 ・口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することができる。 ・怖がらず階段を降りることができる。(年長組)	3.91	・始まる前に子どもたちに逃げ方や隠れ方など話し、理解してから参加できるようにした。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
--	-----	-----	-------	---------

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
公開保育1学期	保育者	3.80	・できる限り、毎日のルーティンのまま行えるように計画して、当日も安心して過ごせる雰囲気づくり、言葉がけに努めた。	どろんこ遊びをやっていただくのは大変ありがたいが、最後保護者の前で全裸になってシャワーを浴びるのは方法を考えて欲しい。
	幼児	3.90	・普段の保育で子どもたちが楽しめるような活動を考えた。	
	保護者	3.80	・毎日の連絡帳やおたより、部屋の掲示物で様子を知らせ、現在頑張っていることや子どもの様子を伝えた。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
プール遊び	保育者	4.00	・準備体操をしっかりと行い、怪我のないように進めた。 ・ルールをしっかりと守れるように声を掛け、全体に目を向けながら水遊びの楽しさを知らせた。	夏の一番楽しい行事であるプールに一人一人子どもたちに合わせたペースで遊びをさせていただけてとてもありがたい時間だと思いました。年長さんはプール開き前にみんなで掃除をするというところも素敵だと思います。本当に感謝いたします。
	幼児	4.00	少:怖い子どもには、顔には水を掛けず変身ごっこをして水に慣れていけるようにした。 中:楽しい雰囲気や活動をすることで水に顔を付けて見ようとする子どもがいた。 長:子ども一人ひとりに合わせ、難易度を上げたり、コスモの先生のやり方を取	

	ねらい	達成度	課題	評価委員の考察
お泊り保育	保育者	4.00	・子どもに話をかけて言葉を受け止め安心できる雰囲気作りに努めた。 ・子どもの体調の変化にすぐ気づけるよう顔が赤い子どもには熱を測ったりこまめな水分補給を促した。 ・子ども達が楽しめるように声を掛けたり一緒に楽しんだりして寄り添いながら行うことができた。	日常ではなかなか体験することができない貴重な行事でした。当日預かって貰ってから夜も心配でしたが、子どもたちが園ですごっている様子をYoutubeにアップして見せていただけたことに感動しました。想像以上に子どもたちが楽しく元気にのびのびと笑顔で写っている様子もあり安心しました。先生たちのお祭りの準備に感銘を受けました。
	幼児	4.00	・自分で出来ることを見守りながら困っていることなどあればすぐに声を掛けるようにした。楽しい話が出るようにコミュニケーションを取りながら友達や先生達と泊まる充実感を味わえるようにした。 ・朝起きて「泊まることができたね」「カレーもキャンプ場で食べられて美味しかったね」と思い出を振り返り充実感を味わった。	
	保護者	4.00	・不安が和らぐよう声を掛けた。 ・帰りの車の中で様子を伝えられる人には伝えて、保護者の方に安心してもらえるようにした。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
--	-----	-----	-------	---------

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
新入園児面接	保育者	・個々の子どもを知る手立てとする。動き、言葉、視線など違和感、発達の遅れを見つける。	3.80	・子どもの名前を呼んだり、同じ目線で質問したり、一緒に遊んだりすることでその子どもの発達を知る手立てとした。	まだ不安でいっぱいな子どもたちを少しでも楽しく幼稚園がどんなところか体験できる時間を作っていたが、保護者も一緒に先生との関りや、お友達との遊び方を知ることができたので、とてもありがたく安心できました。
	幼児	・幼稚園の雰囲気を感じる。遊びに参加することが出来る。	3.90	・“幼稚園は楽しいところ”と思ってもらえるように、笑顔で優しく遊びに誘った。また、無理強いせず個を尊重することで遊びに参加することができた。	
	保護者	・園に信頼を寄せられる	3.80	・温かく笑顔で迎え、質問にも丁寧に答えた。子育ての不安な事に共感したり、「一緒に頑張りましょう」と安心できるような声掛けをした。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
スポーツフェスタ	保育者	・みんなで身体を動かすことを楽しみ、達成感を持たせる。	3.90	・子どもが真似したくなるような大きな動きをするようにした ・達成感や自信が持てるような練習後の振り返りをした ・学年でどのように進めるか話し合った	自信をもって子どもたちが参加していたのは良かった。競技が連続していたので大変ではなかったのかな。競技数は減らさないで欲しい。
	幼児	・体を動かすことの嬉しさや楽しさを味わう。	4.00	・遊びの中で表現の動きを取り入れ、友だちや保育者と一緒に身体を動かすことでもっとやりたいという意欲が芽生えて自ら進んで取り組む姿が多かった ・曲げたり、伸ばしたり効果など伝えたり、友だちと見せ合いすることで、より嬉しさや楽しさや互いの気付いたことを言いあったり、広がるようにした	
	保護者	・集団との関わりを通して子どもの成長に接する。	4.00	・子どもたちの楽しんでいる姿や笑顔、協力してる様子や去年とはまた成長した姿を見て頂けたと思う ・おたよりや直接、会った時に子どもの様子を伝え、成長を共に感じた	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
公開保育2学期	保育者	・幼児が自らその環境にかかわることにより、様々な活動を展開しつつ、必要な体験を得られるよう援助する。 ・幼児の活動する姿や発想を大切に、環境が適切なものとなるよう準備する。	3.70	・子どもたちの発想や発信を受け止め、アイデアを認めながらより遊びが深まるよう提案をしながら進めた。	普段の姿を見ることができて良かったです。外遊びや自由遊びの時間を見せてほしい。
	幼児	・友達と積極的に関わり一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	3.50	・子どもたちのイメージしたものが実践できるように素材を準備した。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
保護者	・情報交換の機会であることを踏まえ幼児教育に関する理解が深まるよう活動内容を伝えていく。	3.80	・迎えの時間や電話など普段から園での様子を伝えるようにした。友達とのトラブルも関係作りのきっかけとなることを伝え、理解し、見守っていただけるよう協力をお願いした	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
交通安全指導	保育者	4.00	警察官に質問したり、パトカーを見たりして話を聞くことができる。	普段見ることができないので体験できてよい。
	幼児	4.00	・交通ルールを知り、守ろうとする気持ちを持つことができる。 ・おまわりさんの話を聞くことができる。	小学校へ行く前の準備ができています。

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
避難訓練2学期	保育者	4.00	・指導案をよく事前に読み、学年会でも流れを話し合いしっかり訓練に臨んだ。	実際に正月におきた時に子どもが机の下にもぐって訓練の成果がでていたのでよい。
	幼児	3.91	・危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。・訓練ということを理解して、怖がらずに避難することができる。 ・口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することができる。 ・怖がらず階段を降りることができる。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
クリスマス会	保育者	4.00	・部屋でクリスマスソングをかけたり、クリスマスの製作からクリスマスを連想させられるように心がけた。 ・当日は、パーティ帽子を被り、クリスマスパーティやクリスマスにちなんだゲームを取り入れてクリスマスの雰囲気を作るようにした。	先生たちのサンタ衣装は可愛かった。プレゼントの質を上げて欲しい。
	幼児	4.00	・絵本をたくさん読んだり、サンタさんへの質問を考えたりすることを通して想像する楽しさを味わう。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
保育者	・幼稚園生活の自然の流れの中で生活に変化や潤いを与え、幼児が主体的に楽しく活動出来るようにする。 ・発表会をみんなで一緒にする達成感を体験させる。	3.70	・表現や歌について子ども達と内容や気持ちを考え、子どもから出た意見を中心に進めた。保育者同士で事前によく話し合い達成感に向けて進む道筋を立てた。 ・変身ごっこや遊びを沢山することで子どもが楽しめるように進めた。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
学習発表会	幼児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたこと、考えたことを自分なりに表現して楽しむ。</li> <li>・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。</li> <li>・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。</li> <li>・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。</li> </ul>	3.70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始める前に、「誰に何を届けたいか」をたずね、思いえ思っでできるようにした。</li> <li>・全体や同じ役のグループでその役の動きや気持ちを考え、イメージを共有して一人一人がしっかりイメージを持てるようにした。友達や自分自身の動きについて言葉で伝えあう時間を設けた。</li> <li>・子どもがしっかりお話のイメージや表現の流れをつかめるように進めた。</li> </ul>	平日の2部制が小学校の終了時間と重なって困っている方もいる(低学年)発表会の歌から表現の移動などで時間に追われていた(余韻がなかった)発表会の衣装の着せ方を事前に教えてもらおうとよかった(リハーサルに参加するのもあり?)
	保護者に対するねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年の集大成として子どもの成長を目の当たりにすることで親の成長を助長する。</li> </ul>	3.70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとり挑戦している姿、頑張っていること、おけいこはの取り組みの様子など、幼児観、連絡帳、電話、お会いした時等、様々なところで伝え、成長を感じていただけるようにした。</li> </ul>	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
お別れ会	保育者	もうすぐ年長児やクラスの友達とお別れということを知らせ、みんなで過ごす時間を楽しむことができる	4.00	年長組が卒園することを伝え、会食やダンスなど異年齢と一緒に楽しく過ごす時間を作った。	
	幼児	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児:卒園する喜びや、小学校に進学することへの期待を膨らませることができる</li> <li>在園児:卒園児の姿を見て、進級することへの期待感を持つことができる</li> </ul>	4.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児:お別れ会の意味を伝え、小学校に関する劇を取り入れ、期待が膨らむようにした。</li> <li>在園児:1年の思い出を振り返り、どんなお兄さんお姉さんになりたいか話をして、次の学年へ期待を持てるようにした。</li> </ul>	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
卒園式	保育者	大切な時間を共に過ごし温かく送り出す。小学校生活へ興味、関心をもてるよう助長する。	4.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声を掛けたり、一緒に遊んだりする中で年長児に感謝の気持ちが持てるようにしてきた。</li> <li>・子ども一人ひとりの名前を呼んで「おめでとう」と声を掛けた。</li> <li>・小学校へ楽しみに行けるよう笑顔で送り出すようにした。</li> <li>また、一人ひとりと丁寧に関わり、大切な時間を過ごした。</li> </ul>	
	幼児	<ul style="list-style-type: none"> <li>長 限られた時間の中で、一つひとつの体験を大切に、共に楽しみ共感し合う。</li> <li>在 様々な関わりを通して年長児の卒園することを知り、親しみや畏敬の念を持つ。</li> </ul>	4.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外で一緒に遊んだり会食の時にかけかわったりして、年長児との時間を温かく過ごせるようにした。</li> <li>・卒園まで一つ一つの活動を思い切り楽しめるようクラスや学年、年下の友だちとの交流する機会を作り進めた。</li> </ul>	
	保護者	子どもと共に成長の区切りを知り卒園を喜ぶ。地域、家庭での新しい生活のリズムへ配慮する。	3.90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長した姿を保護者の方に伝え、共に共感した。</li> <li>・感謝の気持ちを伝え、共に卒園を喜んだ。</li> </ul>	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
外の活動	保育者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やりたいと興味を持てるような声かけや援助を行う。</li> </ul>	4.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達がどんなことをしたいか探ったり一緒に遊んだりしながら遊びを広げていけるようにした。</li> <li>・年齢や時期に合わせて年中年長は鉄棒、わくわく年少は平均台を取り組みその中で子どもの意欲をしっかりと認めるような言葉がけをした。</li> </ul>	家ではできないダイナミックな遊びをさせてもらえてありがたい。

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
二学期	幼児	・いろいろな遊びをやらうとする。 ・遊び方や片付ける習慣を身に付ける。	3.90	・遊具や砂場の使い方や、ルールなどを学期に伝え、習慣づけるようにした。 ・自分たちで遊びをすすめたり、友達同士で誘い合って遊んだりする姿が増えた。また、ごっこ遊びなどに入れない子どもには、保育者が実際に楽しく遊ぶ姿を見せて子どもが「自分もやりたい」と思えるような関わりをした。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
外の活三期	保育者	(わく・年少) 取り組めた姿勢を十分に認め見守りながら適切な援助を行う。 (年中・長) 主体性を大切に、自信につながるような言葉がけ、援助を行う。	4.00	・うんていや大縄跳びなど苦手な子どもが多いので、挑戦しようとする子どもがいたら「一緒にやろう」「1回できたね」などと認めながら子どものやる気を引き出す声を掛けた。 ・ダンス、体操は都度新しいものを学期ごとや行事後にして飽きないように楽しさが続くようにできるといい。	
	幼児	(わく・年少) 自分の力で行動することの充実感を味わう。 (年中・年長) 身近な物や器具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊ぶ。	4.00	・自分の意志でやりたいと思えるように一緒に遊びや器具を準備した。 ・部屋でも体操の曲を流し、覚えたり好きになった曲を「かけて」と保護者に頼んだりする、すすんで体操に参加しようとする姿勢が見られるようになった。	

★前年度の意見を踏まえて、今年度の評価委員会は全学年を混ぜたグループにした。

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
--	--	-----	-----	-------	---------